



茶の薫る丘

開校47周年

令和8年4月8日発行

祝 第47回 黒須中学校入学式

保護者・地域の皆様

本校の教育活動に対して、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。さて、令和8年度は、新入生84名を迎え、総勢237名のご入学・ご進級おめでとうございます。すべての生徒が黒須中の生徒でよかったと思えるように保護者や地域の方々と手を携えて取り組んで参りたいと考えておりますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。

入学式 校長式辞 一部抜粋

…皆さんは、「初心忘るべからず」という言葉を知っていますね。これはおよそ六百年前、能を大成した世阿弥が書いた『花鏡（かきょう）』という書物に書かれたものです。その中に「時々初心不可忘（じじのしょしんわするべからず）」と書かれています。これは「なにかを始めたときの下手だった記憶や、そのときに味わったくやしい気持ちや恥ずかしさ、そこから今にいたるまでのたくさんの努力を忘れてはいけない」という意味です。そして世阿弥は、過去の未熟な状態だけを思うのではなく、今の自分も「未熟」な状態であると自覚しなさいともいっています。結局、「初心」は一生続くのです。… …。今日の気持ち「初心」を大切に新しい自分になりましょう。そこで皆さん、中学校生活で、本校の校訓「真心・創造・克己」の三つに取り組んでください。

一つ目は、「真心」です。「真心」は、形や行動にした方が、相手や周囲に伝わります。ですから、「時を守ること・場を清めること・礼を正すこと」を大切にしてください。具体的には、三分前着席を徹底し、一生懸命美化活動を行い、誰に対しても挨拶をきちんとすることです。そして、「ありがとうございます」がすぐに言えること・これらは、相手や周囲への思いやりとも言え、よりよい人間関係の基本です。これらができれば、皆さんにとって「居心地のよい学級・居心地のよい学校」になるはずです。

二つ目は、「創造」です。「創造」とは、何かを自分独自に創り出すことです。これができるようになるためには、とにかく、授業を軸に、よく考え、よく学び、よく問い、「確かな学力」を高めてください。「確かな学力」とは、テストで高得点がとれるということが全てではありません。主にテストで見る「知識」や「技能」のほか、「学ぶ意欲」や「自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」等を含めたもの全部です。この中でも皆さんには特に「学ぶ意欲」を高めてほしいです。ですから、授業を大切にしましょう。授業をしっかりと受けるのは学生の本分です。授業中先生や友達の話を真剣に聴き、分からないことはそのままにせず、積極的に先生や友達に自分から質問しましょう。こうすることで「学ぶ意欲」も高まり、発想力や創造力につながるはずです。三つ目は、「克己」です。「克己」とは、その字の通り、己つまり自分に打ち勝つことです。ですから、心身を鍛え「健康で、たくましく・しなやか心と体」を作りあげてください。中学校時代は、心と体が大きく成長する、心身を鍛えるには絶好の時期です。時には、壁にぶつかり悩むことがあるかも知れませんが、もしくは、自分の弱さから怠けやずるさもあるかも知れませんが、しかし、それらから逃げないでほしいと思います。苦しくてもしっかりと自分の悩みや弱さに向き合ってください。すると「健康で、たくましく・しなやかな心身」が作られます。この先、自分の力で、人生を歩んでいける人になることができます。これら3つに取り組むことができると、学校教育目標「自立と絆」にもつながります。是非取り組んでください。

校長自己紹介

この度、黒須中学校に着任した ます。よろしくお願いいたします。小学校からの異動ですが、もともと中学校の教員です。専門は理科です(ただし、中学時代の好きな教科は、数学でした)。

私の理想とする学校は、生徒たちにとって「今日が楽しく、明日が待たれる学校」です。生徒が、自分を認めてもらえる集団でのびのびと生活し、お互いに刺激し合い切磋琢磨し、日々何かを身に着け、そのことを誰かに話したくて仕方がなくなる学校です。

私は、この学校の実現のために、教職員組織の力を発揮させ、保護者や地域の皆様のお力添えもいただきながら、日々の教育活動を充実させていきたいと考えます。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度 去られた先生 新たな先生

《転 出》



《転 入》



黒須中学校
マスコットキャラクター
「静・ジャック」
「サン・さつちゃん」

